

■■メールマガジン「静岡県防災」第61号■■

～ ノートイレ, ノーライフ ! ～

近所のホームセンターで防災用品コーナーを覗いたところ驚きました！
様々な災害用トイレが販売されており、数えてみると約30種類程ありました。

県では平成30年10月に、『そうだ！！「携帯トイレ」も備蓄しよう』というチラシを作成し、HPで公開するとともに、ニーズに応じて延べ約15万枚配布して来ました。

このチラシを企画していた頃、同じホームセンターで災害用トイレの販売状況を確認しましたが、当時は、1～2種類しかありませんでした。

それから約6年半が経過し、同じ店舗で様々な、災害用トイレを選ぶことができるようになったことを嬉しく感じました。

能登半島地震の避難所では、約半年間も便器に被せて用いる携帯トイレの利用を余儀なくされた地域もあったそうです。

(静岡県が支援に入った穴水町役場等も1月時点は同様でした。)

トイレトラックやトイレトレーラー、仮設トイレも大活躍しましたが、屋内で用を足すとなると携帯トイレの備えが欠かせません。

トイレチラシ作成時の県民意識調査における「7日分以上の家庭内での災害用トイレ備蓄」は、約4%でしたが、昨年の能登半島地震後の調査では約20%に増えており、徐々に、皆様の備えが進んでいることが分かります。

すべての家庭と避難所における災害用トイレの備えが十分となり、上下水が止まってしまいトイレが使えなくなったとしても、皆が、スマートに携帯トイレを利用でき、『うちが山盛り』になるトイレを生じさせないことは、災害関連死予防の重要な要素です。

皆様の家庭や使うかもしれない避難所の備えはいかがですか？